

東葛失語症友の会の歩み

1. はじめに

「失語症になったとたん、家庭での大黒柱の地位、仕事、友人、自尊心、夢、みんな失ってしまった。でもひとりじゃなかった。仲間がいっぱいいいて、にぎやかに笑ったり、話したり、旅に出たり、新しい生き甲斐をみつけてがんばっていた！」友の会に参加された後、こんな感想を伝えられる方が後を絶ちません。失語症は、どれほどもどかしく、悔しいものか、その気持ちを表現して周囲に理解してもらうことすら難しくなる。「なぜ自分だけがこんな目にあうのか！」「お前に何がわかる！」そう叫びたくなった経験は、もしかしたら殆どの皆さんがお持ちなのかもしれません。ご家族も含めてこんな苦しみしみや孤立の日々に追いやられた後、もう一度立ち上がり、社会に戻るまでの時間がたった6ヶ月？（新医療制度）「信じられない！」と経験者の皆様はおっしゃり、新しく発症された方やご家族は途方にくられる。こんな状況の中で友の会は、充分なりハビリ提供の場とはなり得なくても、皆さま同士の仲間づくりや支え合い、そしてボランティアや関係スタッフを含めた交流の場として活動しています。千葉県東葛失語症友の会は、横張琴子S T（言語聴覚士）主導のもとに1980年に開催され始め、今年（2005年）25周年を迎えました。（2010年30周年）4月には260人の方々がつどって記念大会が開かれところでした。

2. 沿革

1979年、松戸市立病院と国立国府台病院で言語訓練を受けられていた重い失語症者やその家族の仲間づくりを願った集いが横張S Tの自宅で始まりました。その後急速に参加希望者が増え、翌年、松戸市総合福祉会館会議室で友の会として発足、参加者が松戸市を中心としながらも、市川、柏、流山、我孫子、千葉など広域に及んでいたため、千葉県北西部の呼び名をとって東葛失語症友の会と名付けられました。

会員数は発足当時35名、現在約250名。年2回の大会は、会員（失語症者）のほか、家族、ボランティア、医療関係者など多数がにぎやかにつどって交歓しています。会には関東各地のほか、岩手、福島などからの参加者もあり、会場は会議室から、公民館大ホールへ、その後松戸市森のホール21へと移りました。

3. 活動

東葛失語症友の会の主な活動は次のようなものです。

- 1) 大会開催：春秋の年2回。毎回十数人毎のテーブルに分かれ、各々にS Tやボランティア、学生なども交えて午前中いっぱい話し合いの時間をつくっています。ビールで乾杯・昼食のあとは、コンサートやお話、体験発表などいろいろなイベント。そして歌に合わせたりハビリ体操と左手のピーナッツリレー（グループ対抗戦）は初回から続く人気プログ

ラムになっています。

- 2) 会報「友の会便り」発行：年2回
- 3) 他の友の会との交流：第1回から毎年各地の全国大会へ会員の有志数十名とS Tで参加し、旅を楽しむほか、1999年の幕張メッセでの全国失語症者のつどい、千葉県失語症者のつどいなどを県内の友の会と協力して開き、各地に友達の輪を広げています。
- 4) 左手の作品展「生命の灯ふたたび」開催：脳卒中などのため右半身マヒや失語症の重い障害を負った方々の新しい生き甲斐づくりとして、左手の絵や書道の練習、制作が言語訓練の中でずっと取り入れられており、その作品の公開展示の場として1986年より松戸市文化ホールで開催してきました。NHK「おはよう日本」、「人間ゆうゆう」などのほか、毎回新聞でも紹介されて、多くの来場者があり、障害を受けた方たちなどの励みになってきました。今年20周年を迎え、6月27日（火）から7月2日（日）まで同ホールで出品者70名、作品約150点の展示を予定しています。
- 5) 分科会活動
 - ① ハッピーワーク：「障害者がいつもボランティアサービスを受ける側ではなくこちらからも何かのボランティアサービスと差しだしたい」という考えのもとに作られた失語症者の作業会です。友の会の八島会長を中心として月に2回会員とボランティア約20人のメンバーで開催されています。作業例会のほか、老人ホームや障害児・者施設の訪問・交歓や市の祭りへの参加、各地への旅行など活発な活動を行っています。
 - ② 若葉の会：失語症者と家族の自由な集いとして毎週金曜日開催。絵画・書道の練習や制作のほか、リハビリ体操や合唱、話し合いの時間を毎回持ち、時にお茶会、外出なども楽しんでいます。このほか俳句の会や病院での言語訓練を終了とされた方のグループ言語訓練も開かれています。指導にあたるS Tをはじめ、運営スタッフ（家族）会員がボランティアで、参加者も会費なしの自由参加。

4. おわりに

私は友の会に参加すると毎回その熱気に包まれ、皆さんに会えてよかった、明日もがんばっていこうという気持ちになります。毎回ボランティア参加されるS T学生さん達の感想文にも揃って次のような内容が書かれています。「参加されている方たちがとても明るくパワフルで、授業や教科書通りではないことを実感しました」「皆さんが温かくとても親切にして下さり、心がポカポカしました」「皆さんの元気さ、仲の良さに驚きました。仲間がいるってことはすばらしい力なのですね」

友の会ってすばらしい集いですね。